

2016年7月13日（水）17:30-19:30

## 自由討論会

# FREE TALK ROUNDTABLE - BREXIT: ITS IMPLICATIONS FOR BRITAIN, EUROPE AND JAPAN

九州大学箱崎キャンパス理系地区 21 世紀交流プラザ I [1F]多目的ホールにおいて、九州大学 EU センターとアジア太平洋未来研究センター（CAFS）の共催により、『Brexit』をテーマにして自由討論会形式のイベントを開催しました。学内外の一般の参加者をはじめ、研究者および学生など約 30 名が集まりました。議論は英語（通訳なし）で行われ、適宜日本語での説明を入れるなどして、参加者の理解をフォローしながらわかりやすく進められました。

6 月 23 日の国民投票で、大方の予想を覆して、イギリス国民が選択したのは、EU 離脱という結果です。それを受けて、世界市場の不安定化、イギリス国内政治の混乱、EU 内の困惑が続いています。緊急に九州大学の二人のイギリス人教員とともに、自由な意見を交わし議論を深めました。登壇者がそれぞれの意見を述べたあと、参加者からは多くの質問や意見が寄せられ、自由な雰囲気の中で、EU とイギリスの今後のあり方、日本への影響や教訓などについて、大変活発な討論が交わされました。



（左）八谷まち子氏、（中）エドワード ヴィッカーズ教授、（右）テッド ボイル助教



登壇者の意見を熱心に聞く参加者

### イベント詳細

6 月 23 日の国民投票で、大方の予想を覆して、イギリス国民は EU 離脱を選択しました。その結果、世界市場の不安定化、イギリス国内政治の混乱、EU 内の困惑が続いています。九州大学 EU センターとアジア太平洋未来研究センターは、緊急に本学の二人のイギリス人教員とともに、自由な意見を交わしながら EU とイギリスの今後のあり方、日本への影響や教訓などを議論する自由討論会を実施します。多くの方のご参加を歓迎いたします。

Kyushu University EU Centre and Center for Asia-Pacific Future Studies (CAFS) will hold a free talk round table to discuss "Brexit: its implications for Britain, Europe and Japan", with two British professors of Kyushu University.

1.日時：2016年7月13日（水）17:30-19:30

Date and Time: Wed. 13 July 2016, 17:30-19:30

2.会場：九州大学箱崎キャンパス理系地区 21世紀交流プラザ I [1F]多目的ホール

Venue: Lecture Room, 1 F, 21 Century Plaza I, Hakozaki Campus, Kyushu University

3.言語：英語及び日本語（通訳なし）

Language: English and Japanese (without interpretation)

4.プログラム / Programme

登壇者による発言、質疑応答、自由討論

Remarks by speakers, Q&A session, Free talk round table

5.登壇者/ Speakers:

・八谷まち子（九州大学 EU センターアドバイザー、九州大学法学研究院特任研究員）

Machiko Hachiya, Advisor, EU Centre, Kyushu University

・エドワード ヴィッカーズ（九州大学人間環境学研究院教授）

Edward Vickers, Professor, Faculty of Human-Environment Studies

・テッド ボイル（九州大学法学研究院助教）

Ted Boyle, Assistant Professor, Faculty of Law, Kyushu University

■ 事前申込み不要。一般の方もご参加頂けます。

Registration is NOT required. This event is open to the public.

■ 詳細はこちら / For more details

（日本語） <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/events/view/89>

（English） <https://www.kyushu-u.ac.jp/en/events/view/26>

■ 主催：九州大学 EU センター、アジア太平洋未来研究センター

Organized by Kyushu University EU Centre, and Center for Asia-Pacific Future Studies (CAFS)